

第10回海域小委員会における委員意見及び対応（案）

No.	資料	委員意見	対応（案）
1	資料2	<p>【古川】 海域は、陸域の流域や沿岸域全体として成り立っているため、現在の環境をみる上で、海域を取り巻く背景（社会風土、産業活動等）も含めて記載すべき。</p> <p>【滝川】 経済活動作用などについても記載すべき。</p>	報告に盛り込むことについて検討する。
2	資料3	<p>【古川】 どの海域区分にも入らないところがあるが、説明等なくてよいか。</p>	説明を記載する。
6	資料4-1	<p>【橋本】 P.4の「泥化」「細粒化」の定義を明確にすべき。</p> <p>「泥化」：泥質成分が増えること</p> <p>「細粒化」：相対的に粗いものが細くなること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂 ⇒ シルト ・礫 ⇒ 砂 <p>などいろんなパターンがあるが、それぞれ全く異なるものである。</p>	<p>泥化については、礫→砂→シルト→粘土の粒径変化の中で、有明海では礫→砂の場合はないので、砂→シルト、シルト→粘土の場合が対象となる。生物の生息環境にとってはシルト→粘土の場合は問題がないことから、砂→シルト(粘土)の場合が重要であると考えられる。</p> <p>したがって、生物の生息環境の観点からみた底質の「泥化」は、砂泥質の含泥率の変化であり、「細粒化」と同義と考える。</p> <p>意見を踏まえ、上記について説明を記載する。</p>
10	資料4-2	<p>【青野】 P.4 ベントスの減少について調べるには、種類数だけでなく、種別の変化・種組成を確認することが望ましい。</p>	ご意見を踏まえ、門別及び種組成の変化の図表を追記し、変化についての考察を追記する。

No.	資料	委員意見	対応（案）
11	資料 4-2	<p>【小松】底質の泥化については、A 2、A 3 海域が重要。P. 6 1989～2000 年（図 6）と 2000～2009 年（図 7）分けて分析しているが、もともとの状況があつての変化である。</p> <p>1989～2009 年を通した差の表示も重要ではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、中央粒径及び粘土シルト含有率の絶対値の経年変化が確認できる図を追加する。</p>
12	資料 4-2	<p>【小松】P. 7 A 3 海域と同様の整理したグラフを作成されたい。</p> <p>海域の底質の特徴をどのように捉えているのか。細粒化・粗粒化・含泥率の変化の差分で捉えることが難しいのであれば、絶対値で示してはどうか。</p>	<p>A 2 海域が覆砂の影響を受けていることを示す、各地点における底質の粒径加積曲線を併せて追記する。</p>
13	資料 4-2	<p>【古川】A 2 海域の種類数が変わっていないというが、P. 4 の表を見ると減っているようにも見える。P. 9 表 3 をみると、1989、2000 年 ⇒ 2009、2010 年の焼却減量 10%以上の地点数は増えているように見える。</p> <p>このことから、種組成が、二枚貝が減って同化がすすんでいるという解釈で見れば矛盾がない。その可能性は排除すべきではない。</p>	<p>ご意見を踏まえ、優占種が分かる表及び考察を追記する。</p>
14	資料 4-2	<p>【松野】P. 10 連関図を見ると、潮位差・潮流の低下は影響として重要な位置を占めている。潮流の変化に対応した部分が見えるだけのデータが集まっていると思う。</p>	<p>今回の資料に示していない事項についても、引き続き考察を進めてまいりたい。</p> <p>評価に使用できる調査結果等があれば情報提供願いたい。</p>

No.	資料	委員意見	対応（案）
15	資料 4-3	【小松】P.12 「・・・ものの、」と逆説的な表現があるが、素直に記載すべき。誤解をまねく可能性があるため、修正すべき。	ご意見を踏まえ、修正する。
16	資料 4-4	【古川】P.3 ベントスが「2001年以降は減少している」とあるが、ソースはあるのか。	門別の変化傾向を示す図を追加し、考察を追記する。
17	資料 4-4	【滝川】P.6 図5は、地図中の6地点の平均をグラフにしているが、平均をとらない6地点の個々のグラフも確認すべき。平均で見ることに、意味はあるのか。データがなければ整理の仕方を工夫すべき。A1海域（資料4-1 P.5）では、3地点の個別のデータを示している。	ご意見を踏まえ、熊本県沿岸の8地点の個々のグラフを記載し、考察を追記する。
18	資料 4-4	【東】P.7 特に(6)粘土・シルト分のグラフについて、変動が大きいのに考察が少ない。 また、1地点のみのデータでしかない。統計的に有意かどうか、確認する必要がある。 加えて、資料4-1 A1海域でも出水の影響を受けるため測定地点により増減の変動が大きくなっている。	ご意見を踏まえ、熊本県沿岸の8地点の個々のグラフを記載し、考察を追記する。